

名古屋徳洲会総合病院 広報誌

かすたねっと

castanet



2026

4月



特集

健診センター

「地域に信頼される健診センターを目指して」

▲健診センターのスタッフ
(医師、看護師(保健師)、事務)

- 脳神経内科「脳神経内科ってどんな科？」
- 救急救命室「救急救命室の新しい体制」
- TOPICS ・看護師 新人教育研修修了式
・第34回看護研究発表会

※データ、記事、写真等の無断での複製、転載、改変等を禁止いたします。

名古屋徳洲会総合病院の情報や
看護部公式 SNS はこちらから
ご覧いただけます！



▲名古屋徳洲会総合病院
ホームページ



▲看護部
Instagram



地域に信頼される健診センターを目指して

健康診断は、健康を守るための大切な一歩です。
今回は、当院の健診センターについてご紹介します。

はじめに

生活様式や食生活の欧米化やライフスタイルの変化に伴い増加している生活習慣病を予防するには、人間ドックなどの健康診断を受診することで病気を早期発見・早期治療していくことが大切です。

当センターでは、健康診断を受けることでご自身の健康状態を見つめ直していただけるよう人間ドックや各種健診(企業健診、一般健診、特定健診)、オプション検査を実施しています。

健診を受けるタイミング

体調に不安がなくても、年に一度の健診で健康状態を確認することが大切です。
早めに変化に気づくことで、治療だけでなく、生活習慣の改善という選択肢も広がります。

- 健診を受けたことがない
- 最近、健診を受けていない
- 家族に生活習慣病の既往がある
- 自分の健康状態を一度しっかり確認したい

ひとつでも当てはまれば、
それが健診を受ける
タイミングです!!



当センターの特色

① 迅速かつ正確な結果処理

心電図、エコー、聴力、骨密度、尿、採血、胃カメラの検査結果は、
当日に医師が説明いたします。



▲検査後の診察の様子

② 最新の医療機器でより精密な検査が可能



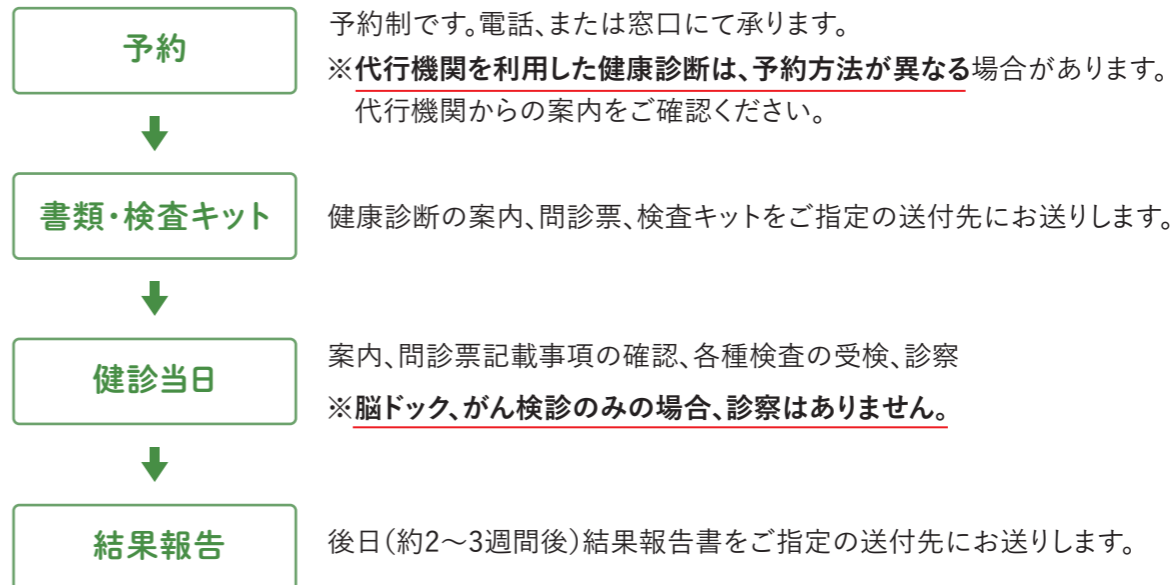
▲FUJI FILM製 AMULET SOPHINITY

2026年2月にマンモグラフィー装置を更新しました。新しい装置は、より高精度な画像を、少ない放射線量で、短時間で撮影できるのが特徴です。装置自体も薄型・小型化されており、検査時の圧迫感が軽減され、従来よりも負担の少ない、安心できる検査を受けていただけます。また当院は、検診マンモグラフィ撮影認定技師が5名(うちピンクリボンアドバイザー認定技師3名)在籍しており、専門性の高いスタッフが検査を担当いたします。

③ 安心のフォロー体制

当センターは病院内に併設されており、検査結果は電子カルテで共有されています。精密検査が必要と判断された場合には、各科の専門医による診療を円滑に受けいただけるよう、二次検査のご案内をいたします。

健診・人間ドック受診の流れ



健診センター専用ダイヤル

2026年3月2日より、健診センター専用ダイヤルができました。
健康診断の予約、受診日や健診内容の変更、お問い合わせは専用ダイヤルにおかけください。

健診予約 専用ダイヤル

0568-66-6704

平日 8:00~19:00 土曜日 8:00~17:00

健康友の会の会員様特典

健康友の会の会員様は、人間ドック・オプション検査が会員価格(2~3割引)となります。また、ドック・健診を受けられる際のオプション検査の骨密度検査は無料、認知機能セルフチェッカーは、半額(1650円)で提供しています。

※予約時に「健康友の会 会員です。」と伝えていただき、当日は会員証を持参いただきますようお願い申し上げます。



健康友の会についてはこちら



健康友の会 公式LINE

地域の皆さまの健康増進に貢献

私たちは、当院で健診を受けたいと思っただけの信頼される健診センターを目指しています。地域の皆様の健康管理・健康増進に貢献できるよう丁寧な対応と質の高い健診の提供を心掛けて参ります。スタッフ一同、皆さまのご受診をお待ちしております。

保健師
主任
田邊 尚末



脳神経内科ってどんな科?

手足のしびれやふるえ、もの忘れ、頭痛など、「これってどこの科に相談すればいいの?」と迷う症状はありませんか。そんなときに関わることが多いのが脳神経内科です。今回は、脳神経内科の役割や診療内容について簡単にではありますが、ご紹介します。



はじめに

そもそも「神経」と聞くと、心や精神的なことをイメージする方も多いのではないのでしょうか。心や精神の病気を診るのは、心療内科や精神科になります。少しややこしいですね。また、脳梗塞や脳出血、くも膜下出血といった脳卒中もよく知られている病気です。他の病院では脳神経内科が診ることもありますが、当院では脳神経外科の先生方が担当しています。

しびれやめまいはどのような?

手足のしびれは、頸椎症や腰部脊柱管狭窄症など、整形外科の病気が原因であることも少なくありません。そのため、まずは整形外科を受診することをおすすめします。また、めまいは耳が原因となる「耳性めまい」であることも多く、その場合は耳鼻科の受診をおすすめします。

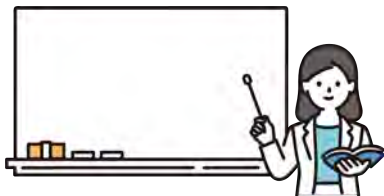


脳神経内科で診る病気

人間の頭蓋骨の中には脳があり、そこから手足の末端まで神経の線維がつながっています。その脳や神経の線維の病気、また筋肉の特殊な病気を診るのが脳神経内科です。

脳の病気としては、認知症やパーキンソン病などが多く、頭痛やてんかんなども脳の病気に含まれます。手が震えるのはパーキンソン病のよく知られた症状ですが、手が震えるだけの病気もあれば、さまざまな病気の症状として現れることもあります。また、認知症というと「もの忘れ」をイメージする方が多いかもしれませんが、もの忘れだけが認知症ではありません。脳にはさまざまな機能があり、認知症はその脳の機能が徐々に障害されていく病気です。このように、脳や神経、筋肉に関わるさまざまな病気を診ているのが脳神経内科です。

何と無く気になる…そんな時は?



なんだか気になる症状はあるけれど、「もしかして嫌な病気だったらどうしよう」「受診するのはちょっと…」と感じることもありますよね。そんなときは、当院で定期的に行っている各科の医療講座にぜひご参加ください。「これって病気なのかな?」「受診したほうがいいのかな?」といった疑問にも、わかりやすくお答えします。

さいごに

病気になっても・ならなくても予防は大事!ほんの少しのきっかけで病気の進行を遅らせることが出来るかもしれません。皆さんで健康になって行きましょう!

脳神経内科
部長
福井 マナミ





救急救命室の新しい体制

当院の救急救命室では、救急車2台体制への移行やホットライン対応の見直しなど、より迅速で的確な救急対応を目指した新しい体制づくりを進めています。今回は、その取り組みについてご紹介します。

※ホットライン対応・・・救急からの受け入れ要請のこと。

当院が救急車で行う業務

当院の救急車は、転院搬送を行っています。いったん医療機関で治療を受けている患者さんについて、急に症状が悪化した場合や、より専門的な治療が必要になった場合に、当院へ救急車で搬送することをいいます。

救急車2台体制になってからの業務

昨年9月より、救急車が2台となりました。これまで当院は、救急からの要請に1件ずつしか対応できませんでした。しかし、2台目の救急車の配備により、同時に2件の要請にも対応できるよう他部署と連携して体制づくりを進めています。



▲新しい救急車が加わり2台体制に

ホットラインの対応



▲電話対応の様子

● 救急救命士が対応するメリット

当院では救急救命士がホットライン対応を行っているため、現場の救急隊から詳細な状況を確認し、ER(救急外来)の医師や看護師へ迅速に情報を伝えるとともに、同じ資格を持つ視点から必要な情報を的確に聞き取り、受け入れ準備を円滑に進めることができます。

今後の展望

現在、朝の全体会議では救急救命士がERに搬送された患者さんの状況を報告しています。また、やむを得ない事情で帰宅された患者さんの中でも体調が心配される場合には、電話でフォローアップを行うなど、継続的な対応に努めています。今後は、老人保健施設からの転院搬送にも対応できるよう、体制づくりを進めていく予定です。

より良い救急体制を目指して

救急救命士が力を合わせ、今後も地域の救急医療に貢献できるよう全力で業務に取り組んでまいります。

救急救命室
救急救命士
後藤 峻



TOPICS_1 第34回 院内看護研究発表会



▲発表会の様子



▲発表の様子



▲加藤院長の総評

2026年2月14日に看護研究発表会を開催し、34回目となった今回は、13部署が発表を行いました。日々の看護への疑問を研究につなげ、その学びを共有できました。活発な質疑応答の時間もあり、研究だけに止まらず、研究の結果を臨床に活かしたいという思いが熱く語られた発表会でした。

当院看護部では、大学教員と協働して研究支援を行っております。今回も、金城学院大学 加藤亜妃子先生にご指導頂き、例年数演題、院外の学会発表へと繋げております。今後も患者さんに役立つ様な研究を行い、提供する看護の質の向上に活かしていきたいと思っております。

診療看護師 加藤 直輝

TOPICS_2 看護師 新人教育研修 修了式



▲研修を終えた看護師たちが記念撮影



▲加藤院長より修了証の授与

2026年2月17日に、新人看護師35名のナラティブ（※）発表会、その後修了式が行われました。新人看護師たちは、この一年で、患者さんとの関わりや、先輩看護師の看護や指導を通じて多くを学びました。毎年、新人看護師の母校である看護学校や大学の先生方にもオンラインでご参加いただいております。今回は4校の先生方にご参加いただきました。参加された母校の先生方にも就職してからの様子や変化を感じ取っていただき、成長した姿を見せることができ、感謝の気持ちが届いたかと思えます。これからも、知識、技術の向上を図り、「こころに届く看護」を提供していきます。

※ナラティブ…臨床での出来事や場面を順を追って語り自己の看護観を顧みること

看護師長 水野 知香

スタッフ募集

地域連携室

地域連携事務・予約電話対応・企画担当・広報担当
地域に貢献できる職場で働きませんか？



★詳しくはHPへ

<https://www.nagoya.tokushukai.or.jp/wp/news/10814.html>



医療講座ボランティア



当院では毎月たくさんの医療講座を実施。地域の方や患者さんとの温かいうりとりが、やりがいになります。

★ボランティアの内容（受付、会場案内、資料配布、後片付けなど）

ご興味のある方は、会場スタッフにお声がけいただくか、直接お電話ください。（担当直通:0568-66-8117）



